

一般社団法人地理情報システム学会第 32 回理事会 議事録

開催日時： 平成 26 年 3 月 10 日 15 時 00 分～17 時 30 分

開催場所： 東京大学工学部 14 号館 802 号室

出席者： 浅見、矢野、巖、太田、関根、玉川、寺木（委任）、小口、小荒井、大佛（監事）
次期理事： 山本、奥貫、大場

欠席者： 柴崎、吉川（監事）

議事

・開会

定刻 15 時 00 分に浅見泰司会長が議長を務め、開会を宣言した。次の通り過半数を超える理事の出席があったので、本理事会が定足数を満たし有効に成立した。

理事総数 10 名

出席理事数 9 名（うち一名委任）

・審議事項

第 1 号議案 寺木担当理事が委任出席のため、巖事務局長が趣旨を説明した。定款・会員資格基準・会員規約という 3 つの文書において会員に関する記述に整合性の取れていない記述があり、その整理を行ってきた。整理後の定款・会員資格基準・会員規約について、おおむね了承した。ただし、学生会員資格について、年度ごとに学生身分証明を提示することを義務とする。学生身分証明を提示することがなく、正会員へ変更する申し出もない者は退会扱いとする。本項を会員規約に追記する。以上、合わせて法律専門の方に見てもらうことにした。

第 2 号議案 小荒井担当理事から中国支部運営費の追加要求を説明した。支部として活発に活動されることを評価する。ただし、原則予算枠内で活動して頂きたい。今年度は中国部支部が赤字決算とし、超過分は同支部次年度予算から差し引くことにした。

第3号議案 厳事務局長から次年度事業計画案を説明した。国際的な連携に関して、今年度は KGIS が来日する年に当たる。KGIS だけでなく他の提携学会にも声を掛ける。ただし、国際連携の予算は追加しない。KGIS との MoU を見直す。旅費は各学会自己負担、謝金なしで先方と交渉してみる。玉川理事が交渉を担当する。学会賞に関して、データ賞の創設はどうかとの提案があった。学会賞委員会に検討してもらうことにした。

第4号議案 小口財務担当理事から次年度予算案の説明があった。95万円赤字予算の提示があったが、50万以内にしてもらうことにした。分科会は活動期間5年という原則を守ってもらい、関連予算の効率化を図る。支部活動がより見えるようにし会員獲得につながるように努力してもらいたい。容易ではない意見があった。

第5号議案 学会賞の一部変更について。関根学会賞担当理事から大会発表優秀賞の対象を検討する提案があった。議論の結果、大会優秀発表賞の対象に関する記述から「社会人学生を除く」を取ることにした。また、学会賞学術論文部門に関して、「「原著論文一篇を含む」学術論文を1編以上」を条件とすることにした。

報告事項

報告1 執務状況の報告

- ・ 小口財務担当理事から今年度の財務会計状況の報告があった。
- ・ 太田資格担当理事から GISCA の認定状況の報告があった。学会体制の変更に合わせて GISCA の執行体制も更新する予定である。
- ・ 玉川渉外・大会担当理事から渉外関連・次年度大会の報告があった。渉外関連は新しい情報がなかった。「2014年度学術大会は11月7日(金)–8日(土)中部大学で行われる。初日は平日のため教室の確保に工夫を要する。大会実行本部に一任する。国際セッションは KGIS だけでなく、台湾などの提携学会にも声を掛ける。国内発表申請も国際セッションにまわすこともできる。名称は国際セッションでなく、GISA 国際ワークショップにする。投稿案内(Call for Papers)の作成、EasyChair での受付方法など、準備が必要。玉川理事が担当することにした。

- ・ 小荒井支部・分科会担当理事から報告があった。支部・分科会の活動計画を事務局が整理し、実施計画と結果を学会 HP に掲載するなど、見える化を改善すべく意見があった。

報告 2 厳事務局長から入退会会費未納会員リストの報告があった。

その他 1 次回理事会・総会は 2014 年 5 月 31 日 13 時～16 時東京大学にて開催することにした。

閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が 17 時 30 分に本理事会の閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、理事厳網林が本議事録を作成し、議長及び出席理事全員が記名押印する。

平成 26 年 3 月 10 日

一般社団法人地理情報システム学会

議長理事 浅見 泰司

出席理事 太田 守重

出席理事 小口 高

出席理事 厳 網林

出席理事 小荒井 衛

出席理事 関根 智子

出席理事 玉川 英則

出席理事 寺木 彰浩

出席理事 矢野 桂司

出席監事 大佛 俊泰